

ので、ぼくの仕事はほとんどありません。はすべてコンピュータがやってくれる くて)昔のままの手書きがなつかしいの 咳をしてぼくをにらみます。 ると、鬼頭課長が、ゴホン、ゴホンと空 スクでやることもなく鼻毛をぬいてい の仕事は今や、書類の作成・管理・保管 て三年目、二十五歳で独身です。文書課ぼくは地元の市役所の文書課に勤め 鬼頭課長はパソコンが嫌いで(使えな うららかな春の日射しの中、窓辺のデ で、ぼくの仕事はほとんどありません。

で鼻毛をぬいているぼくにイラつくの 帳に書き込んでいるんです。何もしない すまないのか、始終細かい字で何かを手です。習い性として何かしてないと気が

でも女好きなんです課長は。アンコ

ーです。 足して三で割ったような美人でグラマママは昔の山本富士子と宮沢りえを のあけみママに惚れているんです。しながら、駅前のクラブ「ハイビスカス」 ハゼをかけ合わ せたような顔を

顔をごしごしするんです。 ンコー+ダボハゼはママもおしぼりで ようなグズグズな顔になって、 いをさせてしまったなぁ、ははは」とア していたのよーん」にジャガ芋が溶けた 「いやー、ママ。 「いらっしゃー い、課長さーん。 忙しくってさびし お待ち い思

たね。 太郎。二十五歳、独身はさっきいいまし言い忘れましたが、ぼくの名前は万年波 「万年くん、好きなもの飲みなさい」。

女(ひと)なんです。性なんです。ぼくなんかの手の届かないなんの女のはかなさも兼ねそなえた女んですか、女のたしなみ、触らなば落ち 役所を休んだ日に一人で「ハイビスカーそれがですよ。課長が鬼の霍乱カゼで ママに惚れているんです。モーレツに。 何しろ色っぽいだけでなく、何て言う じ つは、ここだけの話。 ぼくもあけみ

たけれ〜ど。BGMは裕ちゃんの「ブラよ〜せばよかった〜 よせばよかっ ス」に行ったときのことです ンデーグラス」。 店内はママと二人っき

> 細い指を口に当ててくつくつ笑いり。ブランデーをしたたか飲んだマ らうるんだ瞳で呟いたんです 「あたし波ちゃん(ぼくのことです) ・今夜に ながが

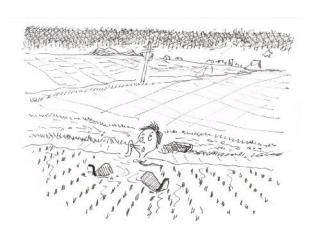
「えつ」

は帰さないわよ」
ホの字なの。鬼頭なんて大ッ嫌い!

ぼくは夢心地で頬をつねった。ながら、これは現(うつつ)か幻かと、 迫ってきたんです。熱い口づけを交わし た満たされ、ママの妖しくうごめく唇が ブランデーグラスにブランデーがま

ユメではないかと つねってみたら んぼの中で 目を覚ます

田







□の中に漢字を埋めて 四字熟語を完成させてください。

2